

LPガスを正しく使って安全・安心

安全機能を搭載したガス器具

ガスを使っていて、「ついうっかり」や「ヒヤリ」とした経験はありませんか？ コンロの火を消し忘れて、ガスの臭いに気づかなかつたりして、事故につながることもあるため注意が必要です。

最新のガス器具にはさまざまな安全機能が搭載されており、利用者の“うっかりミス”もカバーしてくれます。

例えば、安全センサーを搭載した「Siセンサーコンロ」は、センサーが常に鍋底の温度を監視して、異常な過熱を感知すると自動で火を消します。さらに、一定時間経過後に自動的に火を消す「消し忘れ消火機能」も装備しています。

また、ご家庭のガスメーターには安全装置が内蔵されており、地震で震度5相当以上の揺れを感知した場合やガスが多量に流れた際に自動でガスを止めます。このほか、ガス警報器やCO（一酸化炭素）警報器はガス漏れを検知すると警報ブザーで知らせてくれます。

24時間・365日体制で見守ります

ガスメーターとLPガス事業者のセンターを電話回線で結び、24時間・365日体制でガスの異常をモニターする「集中監視システム」の利用が広がっています。

消し忘れによるガスの長時間利用やガス漏れが発生した場合などに、電話回線を通じてセンターに異常を知らせて、事業者が状況確認やガスの遠隔遮断、緊急出動など、適切な対応を行うので安心です。

近年では、携帯電話回線を利用した無線方式の「LPWA（省電力広域）集中監視システム」が普及しています。このシステムは保安面だけでなく、自動検針による業務効率化や配送の合理化にも役立ち、LPガス産業のCO₂削減に貢献しています。

また、LPガス販売事業者には定期的な周知や点検・調査、緊急時対応など、法律で定められた7項目の保安業務が義務づけられており、安全・安心にガスを使えるようサポートしています。



安全・安心なガス利用のために

ガス器具の安全性が向上しているとはいえ、安全機能に頼りすぎはいけません。事故を未然に防ぐためには、ガス利用者自身の安全意識が大切です。

「ガス臭いと感じたら」「地震が起きたら」など、万が一の対応やガス器具の安全チェック、古くなったガス器具の早めの交換など、正しい利用方法を知って、LPガスを安全・安心にお使いください。

LPガス
人と地球にスマイルを 日本LPガス団体協議会

